

患者さんパンフレット

四国がんセンター
泌尿器科



私たち医療スタッフは

- I 入院や治療に対する不安を軽減し、最良の状態で治療が受けられるようにお手伝いします

- II 治療後の苦痛を軽減し、合併症を起こさず順調に回復され安心して退院を迎えられるようにお手伝いします



BCG膀胱内注入療法を 受けられる方へ

さま



主治医

受け持ち看護師

BCG膀胱内注入とは？

BCG膀胱内注入療法とは、BCG（弱毒化結核菌）という生菌を生理食塩液に溶かして膀胱内に注入してがん細胞を死滅させる治療のことを言います

BCGを生理食塩液に溶かしたものを、通常週1回で6週間、カテーテルを通して膀胱内に注入します

初めての注入は合併症等の確認のため、入院中に行います
問題がなければ、2回目以降は外来で行います

| | |
|-----------|----------------|
| ① 月 日 () | (1回目は入院中に行います) |
| ② 月 日 () | |
| ③ 月 日 () | |
| ④ 月 日 () | |
| ⑤ 月 日 () | |
| ⑥ 月 日 () | |
| ⑦ 月 日 () | |
| ⑧ 月 日 () | |

☆今後の治療の予定を書き込んで使用してください
(1週間毎に治療があります)

治療までに準備していただきたいこと

- 他の病院で処方され服用している薬がある方は、入院時に必ずお持ちください（原則、入院中は他の病院の受診ができないため、余裕をもってお持ちください）
- **お薬手帳をお持ちの方は、入院時に必ずお持ちください**
- サプリメントを飲んでいる方は必ずお申し出ください
- 爪の装飾（マニキュア、ペディキュア、マグネットネイル、ジェルネイル、スカルプネイルなど）は入院前に落とし、爪は短く切っておいてください
- まつげのエクステーションをされている方は、お知らせください

<以下のものは病院で貸し出し、購入もできます>

- 衣類（パジャマタイプ/ゆかたタイプ）
「CSセットのご案内」冊子を参考にしてください
- 水のペットボトル 500ml 4本、または 2000ml 1本

※同意書がお手元にある方は忘れずお持ちください

「入院される方へ」の
パンフレットを
参考にしてください



医療品ショップ くろ〜ば〜

場所 2階 中央処置室前
営業時間 8:30~17:00
定休日 土・日・祝日・年末年始
電話 (089) 999-1129



ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、よりよい状態で退院を迎えられるように患者さんご自身の目標と医療スタッフの目標をあげています

入院は約3日間の予定です

治療後の回復は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすすまないこともあります。その都度対応していきますので、ご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活を不安なく送れるように支援させていただきます





今日の目標

- ・入院生活、治療について医療スタッフの説明が理解できる
- ・わからないことは質問することができる

<時間>

<予定>

11:00

入院

【入院後に以下のことを予定しています】

- ・看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明（テレビの病院案内も参考にしてください）
- ・検温、血圧測定、身体測定
- ・連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り
- ・尿検査
- ・医師より治療の説明があります
ご家族の方も一緒に説明をお聞きください
- ・サインをした同意書は看護師にお渡しください
- ・わからないことやもう少し詳しく説明を聞きたいことなどがありましたら、遠慮なくお尋ねください

<お薬>

- ・他の病院で処方された薬は、一度お預かりします
医師の指示を確認後、続けるか、中止するかをお伝えします

<食事>

- ・朝食後から水分摂取を控えてください
- ・食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください
- ・基礎疾患（糖尿病、高血圧等）がある方は、治療食になる場合があります

治療5分前

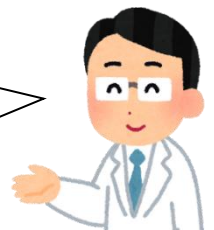
治療の準備が整いましたら看護師からお知らせします
トイレを済ませて、処置室へお越しください

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・入院生活や治療に対する不安がないように支援します
- ・安心して入院生活を送れるように支援します
- ・予定どおりに治療が受けられるように支援します





今日の目標

- 治療後、2時間排尿を我慢できる
- 排尿後2000ml以上水分をとることができる
- 38.0℃以上の発熱がない

| <時間> | <予定> |
|--------|---|
| 治療後 | 検温 血圧測定 <ul style="list-style-type: none"> • 治療後、15分はうつ伏せに寝てください（15分後に声をかけますので、歩いて病室に戻りましょう） 治療後2時間は、病棟内でお過ごしください |
| 治療15分後 | 帰宅 <ul style="list-style-type: none"> • 膀胱の粘膜全体にまんべんなく薬が行き渡るように治療後、2時間は、排尿を我慢してください 我慢できないときは、医療スタッフへお知らせください |
| 治療2時間後 | 排尿 昼食 <div style="border: 2px solid orange; padding: 5px;"> <p>【治療後の排尿について】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 2時間経過したら看護師がお声かけしますので排尿してください • 初めての尿はカップに全部とって、トイレのナースコールで知らせてください • 初めて尿が出たとき、または3時間経過しても尿が出ない場合は、膀胱の中に尿が残っていないかエコーで調べます 100ml以上残っている場合は、管を挿入して尿をとります 夕方と寝る前にもエコーをします • 排尿後は石けんでよく手を洗いましょう </div> |
| 14:00 | 検温 血圧測定 <ul style="list-style-type: none"> • 2回目以降は、いつもどおりトイレで排尿してください |
| 18:00 | 夕食 |
| 19:00 | 検温 血圧測定 <div style="border: 2px solid lightblue; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;"> <p>水分をしっかりとりましょう 1日の水分摂取量を冊子後方の「水分摂取記入表」に記入しましょう</p> </div> |
| 21:30 | 消灯 |

19時までに約1800ml、21時までに200ml
（合計2000ml）を目標に水分をとりましょう

下腹部の痛み、張って苦しい感じがするなどの不快な症状や度々トイレにいきたくなる、発熱等の症状があらわれることがあります
これらの症状は、ほとんどが一時的なものなので心配はありませんが、症状が強いときは医療スタッフにお知らせください

医療スタッフの目標
• 合併症の早期発見に努めます



治療1日目 月 日



今日の目標

- 水分を1日2000mlを目標にとることができる
- 残尿感や排尿時の痛み、38.0℃以上の発熱がない
- 退院後の日常生活での注意点のついて理解できる

<時間>

<予定>

6:00

起床
検温、血圧測定

水分をしっかりとりましょう
水分摂取量を記入しましょう

7:30

朝食
普段、飲んでいる薬はお飲みください

9:00

回診

【排尿について】

- 前日に管を挿入して尿をとった場合は、本日も尿が出た後に膀胱の中に尿が残っていないかエコーで調べます
- 尿はカップに**全部**とってください
- 排尿後は、**トイレのナースコール**で知らせてください
- エコーで尿が100ml以上残っている場合は次回もエコーをします
必要に応じて、管を挿入して尿をとることがあります

10:00

検温、血圧測定

12:00

昼食

- 発熱、排尿時の痛みがあれば、看護師にお知らせください
- **19時まで**に、**2000ml**の水分をとりましょう

シャワー浴をしましょう

14:00

検温、血圧測定

看護師が退院後の日常生活について説明します

18:00

夕食



19:00

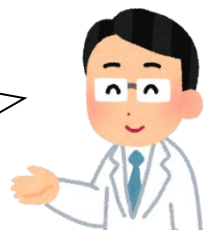
検温、血圧測定

21:30

消灯

医療スタッフの目標

- 合併症の早期発見に努めます
- 退院後の日常生活に不安がないように支援します



退院日（治療2日目） 月 日



今日目標

- 水分を1日2000mlを目標にとることができる
- 残尿感や排尿時の痛み、38.0℃以上の発熱がない
- 退院後の日常生活での注意点のついて理解できる
- 退院できる

<時間>

<予定>

6:00

起床
検温、血圧測定

7:30

朝食
普段、飲んでいる薬はお飲みください

9:00

回診

【排尿について】

- 前日に管を挿入して尿をとった場合は、本日も尿が出た後に膀胱の中に尿が残っていないかエコーで調べます
- 尿はカップに**全部**とってください
- 排尿後は、**トイレのナースコールで知らせてください**
- エコーで尿が100ml以上残っている場合は次回もエコーをします
必要に応じて、管を挿入して尿をとることがあります

次回外来予約票をお渡しします

10:00

退院
退院前に忘れ物がないようにご確認ください
「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けしますので、
2階でお支払ください

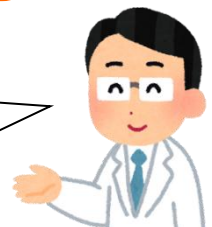
- 発熱、排尿時の痛みがあれば、看護師にお知らせください

次回外来受診は

月 日 () 時の予定です

医療スタッフの目標

- 退院後の日常生活に不安がないように支援します



尿の管が抜けた後の注意すべき症状

- 血尿が濃くなる
- 血の塊が出る
- 尿が出にくい
- 残尿感がある
- 下腹部が張る

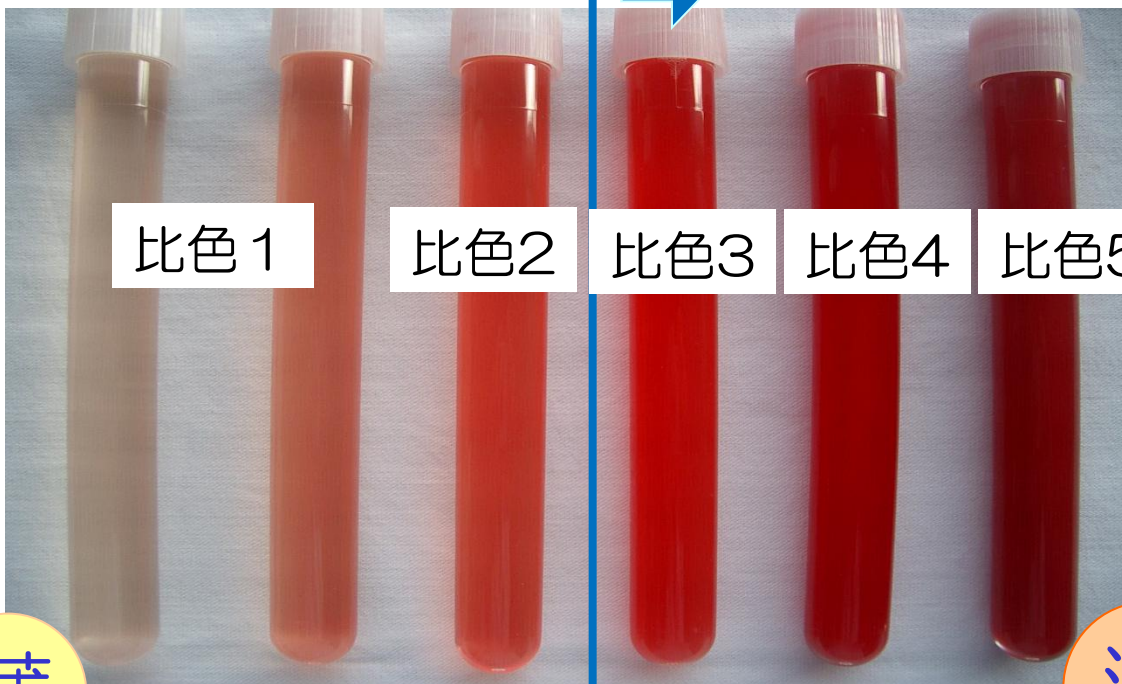
などの症状がある時は、看護師または医師にお伝えください

血尿が濃くなった場合、
カップをお渡ししますので
血尿の程度を確認してみましょう

血尿の濃さについてお聞きします
下の表を参考に、血尿の濃さを
お伝えください



※比色3以上になったら
看護師に知らせてください



薄

濃

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

退院後の日常生活について

●食事

次回外来受診日までは、水分は1日2000mlを目標にしましょう
栄養のバランスに気をつけましょう
原則的には食事の内容に制限はありませんが薄味を心がけましょう
アルコール類は次回外来受診日まで飲まないでください



●入浴

体を清潔に保つことが大切です
入浴は、特に制限はありません

●活動

規則正しい生活をして、適度な運動をしましょう
まずは軽い散歩や買い物から始めてみましょう
徐々に活動量を増やしていき、疲れないように調節しましょう

●お薬

薬の処方がある方は、医師の指示どおりに服用してください
他の病院の薬を服用する場合は、医師に相談してください

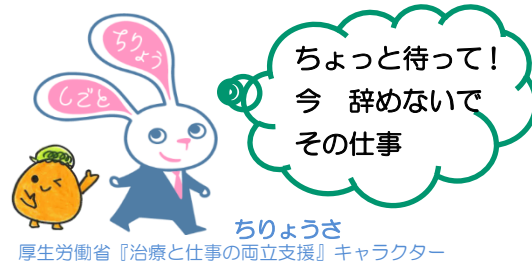


●仕事

これから先、安心して働き続けるためには
体の状態に合わせた休み方や働き方が必要に
なることもあります

病院では、患者さんの「働きたい！」を
サポートしています

ご相談は、がん相談支援センターへお問い合わせください



●その他

定期受診は必ず受けるようにしましょう



- 38.0℃以上の熱が出たとき
- 水分摂取量に関わらず排尿ごとに血尿が濃くなる時

上記のような症状がある場合やその他ご心配なことがある場合は
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8:30~17:15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝日】
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

翌日以降の外来受診日や検査予約日の変更
【平日】 13:00~17:00
四国がんセンター 予約センター
(直通番号) 089-999-1112



BCG膀胱内注入療法を受けられる方へ